

THE UNIVERSITY OF TEXAS
MDAnderson
Cancer Center

Making Cancer History®



UNIVERSITY OF HAWAII
CANCER CENTER



The 3rd Team Science Workshop: Strategies for Empowered Teams

"Innovative Team Approaches to Rapid Changes"

がんのチーム医療ワークショップ



JTOP ワークショップ ご紹介



Japan TeamOncology Program

JTOP(Japan TeamOncology Program) とは？

日本およびアジアのがん医療に関わる
医療従事者を対象に、がんのチーム医療
(チームオンコロジー)の普及と、患者さん
ががんチーム医療の中心的な参加者と
なるための支援を目的としたプログラム



Japan Team Oncology Program

主な活動

1 チーム医療ワークショップ



多職種が関わるだけでは、良いチーム医療は提供できません。コミュニケーションスキルなど、個人の成長が必要です。J-TOPは医療人を育てるワークショップを提供します。

2 Japan Medical Exchange

(JME)



MDアンダーソンがんセンターへの短期留学プログラムです。現場でチーム医療を知ることでワークショップの学びをさらに深め、医療人、リーダーとしての資質を養います。

3 オンライン掲示板



患者さんやご家族が体験を分かち合い、医療者とより円滑にコミュニケーションできるように…そのサポートのため、オンライン掲示板をウェブ上で運営しています。

4 プロジェクトECHO ONE



「ガイドラインを超えた“コツ”の情報共有」「燃え尽き予防プログラム」など、地域の医療者と専門家を繋いで治療内容の改善を目指す、オンライン勉強会です。

JTOP チームサイエンス ワークショップとは？

- 2002年から開始
- 上野直人医師（元MDアンダーソンがんセンター、現ハワイがんセンター）が創立
- MDアンダーソンがんセンター等から講師を招聘
- 5年ごとにテーマを更新して継続している

さまざまな医療職と、がんサバイバーの方と、合計70人前後の参加者を予定しています
多くのJTOPメンバーがそれをサポートします

目的

科学的思考をもとにした優れた医療人および医療チームを育成する

- **包括的な戦略の考案:**

多様な視点を取り入れ、公平な研究環境を促進することで、さまざまな専門分野の臨床および科学的なチームをエンパワーメントするための包括的な戦略を考案する。

- **個人およびチームのミッションとビジョンを明確にする。**

- **リーダーシップスキルと効果的なコミュニケーション能力の向上:**

包括的なチームの構築、多様なリーダーシップの促進、およびすべてのチームメンバーに公平な機会を提供することを目指し、リーダーシップスキルと効果的なコミュニケーション能力を向上させる。

- **個人のキャリア開発プランを描く:**

多様なキャリアパスを考慮し、キャリアの潜在的な障壁に対処しながら、専門的な成長の機会を公平に得られるようなキャリア開発計画を立てる。

- **質の高いがん治療へのアクセスの格差を明らかにする:**

日本および他のアジア諸国における質の高いがん治療へのアクセスの格差を把握し、これらの課題に取り組み、公平な解決策と包括的なアプローチを重視するプロジェクトを考案する



主なトピック

いわゆるがんの治療やケアではなく、リーダーシップやチームビルディングに特化した内容であることが特徴です！

- 自分を知る（MBTI、コアバリューなど）
- ミッションとビジョン（個人、チーム）
- リーダーシップ
- キャリア開発
- タックマンモデルのフレームワークをもとにしたチームのエンパワメント
- ダイバーシティとインクルージョン、公平(Equity)...

リーダーシップを知る

Individual Leadershipを
実践するために必要な
内容をワークショップ
で学ぶ

Individual (Personal) Leadership

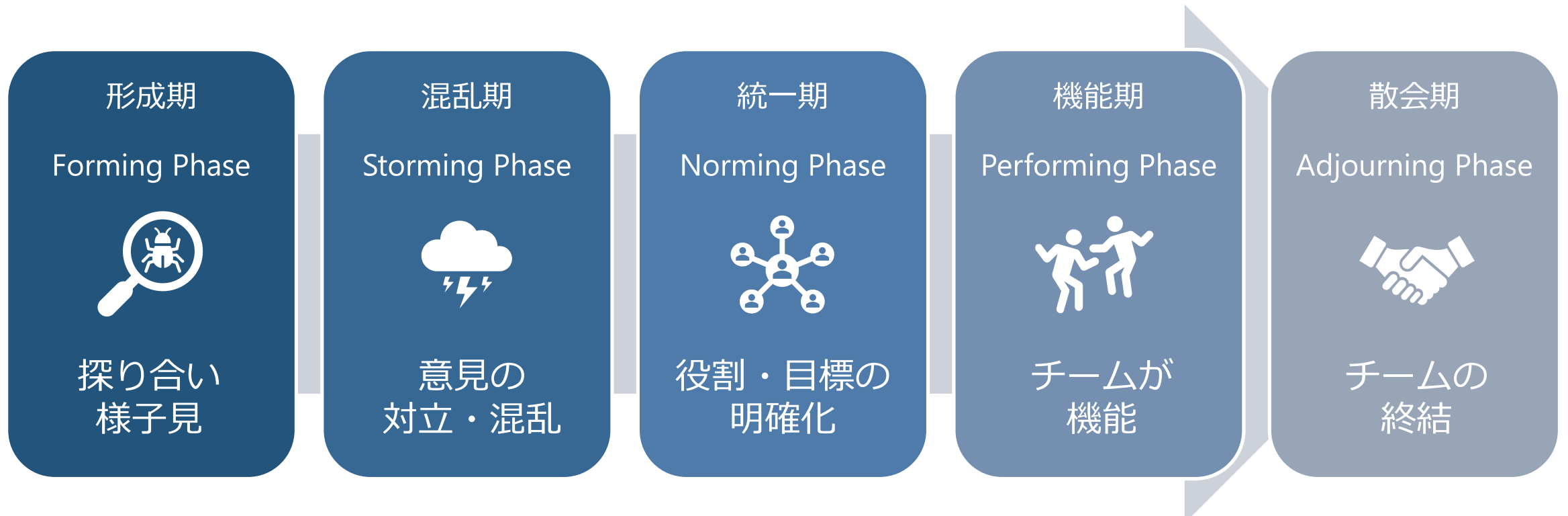
- 個人が自律性を持って実行するリーダーシップ
- 自身が正しいと信じたこと、自身のミッション・ビジョンに基づき行動
- コンフリクトや感情のぶつかりあいを恐れない

〇〇長といった、ポジションではなく、個人がそれぞれリーダーシップを発揮するという、個人のリーダーシップについて学びます

このフレームワークに沿って、チームの発展やその際に活用できるエッセンス等を学びます

タックマンモデル

チームの形成から散開までのフレームワーク



- 心理学者のブルース・W・タックマンが1965年に提唱した、組織の成長の段階を示したモデル
- チームを形成した後、混乱や対立など、さまざまな段階を経ることで理想的な組織へと成長する

コンフリクトマネジメント

- ▣ チームにとって最大の困難であり、挑戦でもある
- ▣ コンフリクトはチームの発展を促すものである
- ▣ コンフリクトがないチームはむしろ問題である コンフリクトを忌避してはいけない
- ▣ わざとコンフリクトを生じさせるのもリーダーとしてのスキル…？

コンフリクトマネジメントを行う上で必要なのが

- 心理的安全性
- アクティブリスニング
- エモーショナルインテリジェンス

プログラムの流れ

Part 1	オンライン (Zoom)	
Day1	2024年12月8日 (日)	8:00 am – 4:30 pm
Part 2	国立国際医療研究センター (東京都新宿区)	
Day 1	2025年1月11日 (土)	10:00 am - 8:00 pm
Day 2	2025年1月12日 (日)	8:00 am - 6:00 pm
Day 3	2025年1月13日 (月)	8:00 am - 1:00 pm



特徴

- サバイバーの方の参加 がん体験者の方の見解も活かしながら共にチームとして学びます
 - アジアからの参加 フィリピンやタイ、ベトナム等からも参加するので世界が広がります
 - 医師、看護師、薬剤師、MSW、PT、遺伝カウンセラー、心理師
など多職種と一緒に学ぶ 多様性を活かして学ぶことができます
 - 講義
 - スモールディスカッション
 - グループワーク（プログラム立案）
- さまざまな講義、だけでなく、テーマに沿って話し合いをしたり、グループでプログラムを考えたりすることで、実際に体験しながらチームビルディングを学べます

It's new!!

今年のワークショップは
ASCO（米国臨床腫瘍学会）の承認を受けています！

ASCO[®]

AMERICAN SOCIETY OF CLINICAL ONCOLOGY
KNOWLEDGE CONQUERS CANCER

よくある質問

ディスカッションも、翻訳ツールを使いながら、やり取りできます
日本語を翻訳ツールに入れて、
その英語をチャットに貼り付けたりするのもOKです
カタコトでもいいので話してみると伝わります！
JTOPメンバーもサポートします

• 共通言語は英語？

講義は同時通訳がつきます

ディスカッションは様々なツールも使えます

チューターもサポートします

おすすめツール



Microsoft 翻訳



Japan TeamOncology Program

よくある質問

事前課題って？

自分が、5年後、10年後どうありたいか
考えてみるのがまずワークショップへの第一歩にもなります
これを英語にしておくと、当日もそれを使って話せます

• “My Dream (Vision):

What would I like to become in 5 years, 10 years”

• あなたのキャリア紹介

ご自分の経歴を簡単でいいので書いてください

英語にて記載

書式およびタイトルは自由（施設名と氏名を記載）

A4用紙各1枚以内 ファイルは別にせず、改ページで記載





ご参加
お待ちしております

